



連続講座 2017

講義概要*

*予定です

第13回：2018.1.11 知財最新動向と企業実務

知的財産制度を取り巻く昨今のトピックとして、「第4次産業革命・Society5.0」達成のための知的財産等の議論があります。それを構成する要素として、IoT、ビッグデータ、AIといった用語が取り沙汰されています。

また、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）は、米国の離脱という事態になりましたが、国内法の改正は一部を除き実施される予定です。

本講義では、これらの動向に関連する知財関連の検討課題を取り上げて紹介するとともに、それらの企業実務への影響や、今後の法制度のあり方について考えてみたいと思います。

I. 第4次産業革命/Society5.0 関連

1. 第4次産業革命/Society5.0 の意味するもの
2. 増幅されるこれまでの課題
3. 新たに生じた課題
 - 著作権権利制限について
 - AI生成物、AI関連の要素の保護
 - データ、データ集合物＝「情報財」の保護

II. TPP 関連

- 保護期間について
- アクセスコントロールの回避規制について
(テーマIに関わる新たな規整も)